



中野区立緑野中学校 学校便り

探求・創造・共生

令和 2年 12月 19日(土) 発行 第7号

生徒は語る ～3年生の面接練習を通して～

校長 齊藤 久

12月に入ると中学校では、3年生を対象に面接練習を行います。生徒は経験したことがない緊張感に包まれながら、質問をよく聞いて自分の意見を堂々と語ってくれます。今年は感染症対策が続き、制限された教育活動を行ってきましたが、真剣に面接練習に向き合う態度から逆境の中でも成長してきた様子が伝わってきます。

3年生に「あなたが通っている緑野中はどんな学校ですか？」と質問すると次のように語ってくれました。

- ・緑野中は個性が豊かな生徒が多く一人一人を大切にしてくれる学校です。
- ・緑野中は先生方だけではなく生徒も力を合わせて学校を良くしようとしている学校です。
- ・緑野中は授業が面白くニコニコ笑顔があふれている学校です。
- ・緑野中は行事など何事も全力で取り組める団結力の強い学校です。
- ・緑野中の先生は勉強だけではなく何でも生徒の相談にのってくれる学校です。
- ・緑野中は生徒同士が仲が良く部活動や委員会などで縦の関係も良い学校です。
- ・緑野中は校則が厳しくなく2ブロックの禁止の理由を生徒に丁寧に説明してくれたり、生徒のことを中心に考えてくれている学校です。
- ・緑野中は部活のことで悩んでいた時に声を掛けてくれて安心する居心地のいい学校です。
- ・緑野中は授業が楽しく分かりやすく部活動も盛んで元気に学校生活を送っている生徒がたくさんいる学校です。
- ・中1の時に学校に馴染めず悩んでいる時に先生に相談にのってもらい助けてもらいました。いい先生に恵まれて中3まで来られ受験に向かうことができている。緑野中はいい先生がたくさんいる学校です。

校長として嬉しいコメントをたくさん語ってもらいました。また、将来の夢や希望について質問をすると今年は「将来は医療関係に従事したい」と話す生徒が多いと感じています。その理由について質問すると、『人のために役に立ちたいから』と生徒は答えます。新型コロナウイルス感染症の報道で、エッセンシャルワーカーと言われる医療従事者の懸命な努力が毎日のように伝えられています。このような状況の中で中学生として色々と考えさせられたことと思います。『人のために役に立ちたいから』と真っ直ぐに前を向いて語る生徒たちは、希望に満ちあふれ眩しいくらいの輝きを放っていました。

逞しく成長した3年生の未来にエールを送りながら、今日はどんなお話を聞けるのか楽しみに面接練習に臨みます。



第一学年 川越社会科見学

12月10日(木)埼玉県川越市に社会科見学に行ってきました。川越城址を中心に寺社が点在する川越市です。また時の鐘に代表される歴史的景観が保護されていることから、今なお江戸の情緒が色濃く残り、「小江戸 川越」とも言われています。

「川越 社会科見学を終えて」

いつでも集団行動という学校生活から少し離れ、先生のいない班行動という形で校外学習が行われた。最初は「自由」だと勘違いしていたが、本当はとても過酷で、現実では何度も壁にぶつかった。

本川越駅に着き、歩いて行くとレトロな町並みが広がっていた。古いけれど強そうな蔵造りの商店、今にも光が消えそうな信号、食欲をそそる看板、私たちが見たことのない世界にあふれていた。しかし、私は「川越のわな」に引っかかることになった。班の全員が地図をまともに読めなくて、いつの間にか真反対の所に着いたのだ。そこでふっと思い出した。最初に訪れた博物館で「川越の武将は城下町をほぼ丁字路でつくり、敵陣が城に近づけないようにした」と言っていたことを。私たちはまんまと昔の人たちが作った城下町迷路に引っかかったのだ。最後は無事に目的地に着けたけれど、班の仲間で支え合っていなければ心も体もボロボロになっていただろう。そこで初めて班行動の大変さを知った。

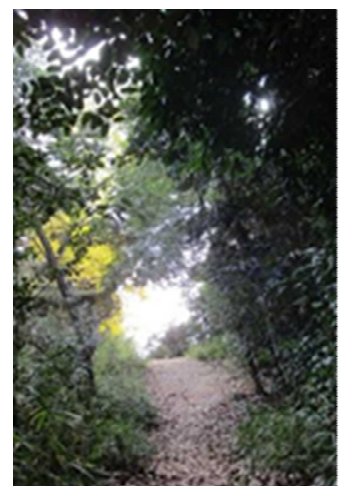
また、班長として班をまとめるのも大変だった。菓子屋横町など食べ「止まり」を計画していたところでは、「あっちへ行こう、こっちの店は美味しそう」などと意見が多くでて意見をくみ取ることに苦戦した。その中で「清潔に！マナーを守って！」などの呼びかけは大変だろうなと思ったけれど、しおりに書いてあったルールを守ってくれた。そのとき、ルールの大切さと有難みを学んだ。

このように「班行動」の大変さを知ったと同時に、チームワークのルールの大切さも学んだ。でも、楽しかったことはこれらの何倍もあった。道に迷った時だって「何これ？」という発見もあり、笑顔は絶えなかった。感染症対策や公共のマナーの徹底など、数々の「制限」があっても見て、聞いて、考えて、行動に移すことができた。

大変なことがあった分、それをカバーする楽しいことが存在して笑顔で包んでくれた。楽しむことは心を豊かにしてくれた。それは当初求めていた「自由」では手に入れられなかったことだと思う。制限があるからこそ、考えて、ルールをもとに別の楽しみをつくり出す。コロナ禍で状況が二転三転するこの社会でも新しい楽しみ方を探すことは重要だと思った。

今回の社会科見学は川越の「歴史」とともに「現代社会」についても考えさせられる良い機会となった。

童謡「とおりゃんせ」の舞台
「三芳野神社」の細道



「計画通り」

この社会科見学は、アクシデントのない、とても平和なものとなった。

平和だった理由は3つある。

一点目は徹底した時間管理だ。「もうすぐ時間だから！」や「次の時間がなくなるから早く！」などの声かけがよくあり、こまめに時間を確認していた。これによって引き起こされたのが「チェックポイント時間ピッタリ」現象である。二点目は道に迷うことがなかったことだ。これは時間管理に似ていることだが、しっかり計画を立てていたからこそできたことだと思う。三点目はみんなが楽しめたことだ。しっかり現地ならではのものを聞き、感じ、楽しんだからこそ問題もなく、スムーズに社会科見学を行えたのだと思う。



次に今回楽しんだことについて話していこうと思う。まず楽しんだことは観光だ。熊野神社では、人生初のおみくじをし、足つぼを楽しんだ。蓮馨寺では、寺の見た目の壮大さを楽しんだ。菓子屋横町では食べ物を楽しみ、氷川神社、本丸御殿、市立博物館では歴史を楽しんだ。次に楽しんだことは、班員との会話だ。いつも通りの会話もあれば、川越だからこそその会話もあった。

次回の社会科見学では、今回学んだ「しっかりと計画を立て実行し、楽しめた」ことを生かしていきたいと思う。



生徒の自治力を育てます！ 緑野中版「いじめ防止標語」優秀作の発表です

11月は東京都・中野区が取り組む「ふれあい月間」でした。この取組の一環として生徒会執行部が「いじめ防止標語」を募りました。多くの応募作の中から選出された作品を紹介します。応募された作品は「いじめ」を他人事にせずに関心する自分や周りの人は何をすべきかを訴えるものが多くありました。

校長賞	「 楽しさ一瞬 後悔一生 心に残る深い傷 」	2年
副校長賞	「 いじめだよ 言われる前に 気付かなきゃ 」	1年
生徒会長賞	「 周りの子 助けてあげよう 見てないで 」	2年
生徒会執行部賞	「 言ってみよう その一言で 救われる 」	1年
生徒会執行部賞	「 標的も あなたと同じ 人間です 」	3年
生徒会執行部賞	「 笑顔でも ほんとの気持ち 考えて 」	1年
生徒会執行部賞	「 大切な 仲間を一人も 失うな 」	1年
生徒会執行部賞	「 その一言が 相手を傷つける刃物となる 」	2年

美化委員会がグラウンド周りの落ち葉掃きをしました

広いグラウンドを有する緑野中学校です。12月になって、落ち葉がとても目立っていました。美化委員会が「落ち葉掃き」に取り組みました。

実施日 … 12月1日（火）、12月4日（金）

活動時間 … 7:50～8:10

この取組を通して委員会として、気付き、考え、計画し、実行することの大切さを学ぶことができた実践になりました。この経験が次の取組につながっていきます。



中野区立中学校 生徒会意見交流会が開催されました

11月28日（土）に区内の生徒会役員がリモートによる会議に参加しました。

今年是一个の会場に集まらずに、リモートによる交流会になりましたが、役員の生徒は積極的に参加し、自分の意見を表明することができました。他校の実践に学び、緑野中の実践に生かして欲しいです。緑野中生徒のリーダーとしての活躍を大いに期待しています。